

1939
2011
10/1

府職の友

発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/平井 賢治 編集人/小山 智美
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

震災だからじゃ済まされない!
まともな仕事と人間らしい生活を!

大阪青年大集会2011

10月8日(土)13時start
大阪市立中央区民センター
首都圏青年ユニオン書記長 河添誠さん 他



くらし切り捨ての 橋下府政をかえよう

9月府議会開会 昼休み府民集会

憲法をふみにじる条例案をいぶきょう

- ・民主主義の危機にこんなにたくさんの方が集まって感激。「これはファシズムではないか」という武村さんの観点をもっと強調したらどうか。「学校や教育の窓」「先生や子どもがいじめられる」観点からだけではなく、「府民・国民の自由が奪われる」立場が必要。
- ・橋下・維新の会の化けの皮が完全に剥がれた思い。この条例案通ったら大阪には住めない。
- ・橋下知事の強制は、治安維持法下の国民管理、恐怖政治をすすめたナチスを想起させる。
- ・なにわのヒットラーの暴挙を許してはならない。

9・6 「2条例案反対府民集会」参加者の声

- ・今から戦争が始まろうとしている。それを必ずやめさせ、子どもを守っていく。それくらい、本当に真剣に、命を懸けて阻止したい気持ちで頑張りたい。
- ・橋下の独裁政治ストップとともに、教職員が府民と一緒に考えて行くきっかけに。丁寧な対応しかない。仲間を増やしながらたたかう。それが10年、20年後の大阪の民主主義をつくる。
- ・子どもや保護者にとって、毎日のくらしや営業に追われている人たちにとって、2つの条例案がどういう意味を持つのか。2つの条例案のまちがいについてたくさんの人と対話したい。
- ・「今声を上げなければ」という発言があったが、まったくその通りと思う。

(2011. 9. 6「教育基本条例」「職員基本条例」を許さない
府民集会アンケートより)

府民集会では開会に当たっての日本共産党府会議員の宮原団長の決意表明につづき、これまで府民要求のとりくみを行ってきた3団体からの決意表明がありました。医療関係では泉州救命救急センターなど、救命救急センターを守るとりくみが報告され、新日本婦人の会からは子どもの医療費補助の充実拡充・中学校

給食を実現する要求のとりくみや議会への要請行動のとりくみの報告がありました。大教組から「職員基本条例」「教育基本条例」反対のとりくみで教育委員やPTAなど反対の意思表明がされていることにも決意が表明されました。

集会には明るい民主大阪府政をつくる会から今度の大阪府知事選挙に立候補をし、激励の挨拶をされました。

決意された、弁護士梅田章二さんが激励に駆けつけ、「憲法と教育を踏みこじめる条例案を本気になってつぶそう」と呼びかけました。また、脱原発の集会在東京で6万人という多くの参加で成功したことをうけ、原発撤廃・自然エネルギー推進、安心・安全でやさしい府政への転換を決意し、激励の挨拶をされました。

集会は府職員の組合員をはじめ各団体から230人が参加し、集会後、府庁周辺のデモを行いました。

府民要求連絡会は9月20日から始まる9月府議会の開会日に大阪城公園の教育塔前広場で昼休み府民集会を開催しました。今府議会では橋下知事率いる大阪維新の会が「職員基本条例」「教育基本条例」を提案する予定であり、府職労・大教組に加えて府民団体が参加しての早朝から本庁での2条例反対の宣伝行動が行われました。また、1日中府議会の各会派あてに要請行動も行われました。

た。集会の締めくくりとして府民連の橋口事務局長が、府民要求を実現する立場で、この3年9ヶ月にわたり福祉や医療・教育を切ってきた橋下府政や大阪維新の会の実態を知らせ、多くの府民との対話をしよう。各団体でこの9月

はじめ各団体から230人が参加し、集会後、府庁周辺のデモを行いました。



遊歩道

東北大地震から6ヶ月が過ぎました。やっと仮設住宅で生活できるようになったところに今

度は台風15号が襲って床上浸水とは...なんとむごいことか。災害は容赦なく襲ってつらいことをまざまざと見せつけられた▼日本列島のどこに住んでいても地震、台風などの自然災害は避けられない。しかし、20年前に聞いた、森林を削ったの乱開発や、治水の役割を担っている水田が減らされることに警笛をならしっておられた井上靖さんの講演を思い出す。大企業のもうけ優先の政治が災害を大きくしているように感じる。原発事故もその典型ではないか▼大江健三郎さんが呼びかけた人となって開催された9月19日の「さようなら原発5万人集会」の記事に、原発推進に対する国の無責任さへの怒りと、安全・安心な街づくり、国づくりに対する国民の主體的なパワーを感じた。と同時に、国連で「日本は原子力発電の安全性を世界最高水準に高めろ」と演説した野田首相との乖離に驚いた。国民の苦しみは届いていない...。



(K)